

【担当課評価】
5…予定より大きな成果が出ている
4…予定した成果が出ている【基準＝100%の達成率】
3…おおむね予定した成果が出ている
2…予定した成果があまり出していない
1…予定した成果が出していない

参考資料①

			5年度				6年度	
事業項目		事業概要	取組と実績	担当課評価	評価の内容	取組に対する今後の課題	計画及び目標	担当課
13	男女双方の視点を取り入れた防災対策の推進	学校・地域・行政が連携した防災訓練を実施するとともに、各小中学校の「避難所管理運営マニュアル」を学校及び地域の特性に合ったマニュアルに更新するように推進します。	総合防災訓練等で、学校・地域・行政が連携し、地域の多様なニーズに配慮した避難所開設訓練を実施した。各避難所に初動班職員として女性職員を1名以上配置するとともに、男女別トイレ、授乳室や母子避難スペースの設置、更衣室、女性用物干し場等の設置について、女性の視点に立った避難所開設の検討を進めた。	3	総合防災訓練会場校のみならず、各学校で地域と一体となった避難所開設訓練や避難所担当職員による訓練を実施した際、授乳室や更衣室などに適した部屋の選定など、配慮が必要となる場合を想定し、検討・対応を進めた。	地域住民が主体となった避難所開設・運営を進めるとともに、引き続き、男女双方の視点も取り入れた防災対策を推進するため、様々な属性の積極的な参加を呼びかけていく必要がある。	・既に立ち上がっている地域の避難所協議会については、引き続き、必要な情報を提供するとともに、多様な参加者を促すとともに、会の活性化を支援する。 ・未だ立ち上がっていない地域については、避難所協議会の立ち上げの支援を行う。	防災危機管理課

【参考】昨年度回答

4年度				5年度	
取組と実績		担当課評価	評価の内容	取組に対する今後の課題	計画及び目標
総合防災訓練等で、学校・地域・行政が連携した避難所開設訓練を実施した。訓練においては、母子・乳幼児避難エリアを設定するなど、女性視点の対応を進めた。		3	総合防災訓練会場校のみならず、各学校で地域と一体となった避難所開設訓練や避難所担当職員による訓練を実施し、訓練の中で授乳室や更衣室について検討・対応を進めた。	地域住民が主体となった避難所開設・運営を進めるとともに、女性視点の対応を協議するため、女性の参加を促していく。	・既に立ち上がっている協議会については、引き続き、会の活性化を支援し、女性視点の対応について促すとともに、情報提供をしていく。 ・未だ立ち上がっていない地域については、避難所協議会の立ち上げを促すとともに、支援をしていく。

第三者 評価欄(A～E)	判定理由及び改善策等の提言

【第三者評価 基準】

- A…施策は非常に良好に進展している（事業概要・目標・計画以上に施策を実施している）
B…施策は、良好に進展している（事業概要・目標・計画どおり施策を実施している）
C…現状維持（一部事業概要・目標・計画どおり実施していないが、達成に向け努力している）
D…施策がやや後退している（一部事業概要・目標・計画どおり実施していない）
E…後退している（事業概要・目標・計画どおり実施していない）

令和6年度重点項目評価表(令和5年度実績)

氏名: _____

【担当課評価】
5…予定より大きな成果が出ている
4…予定した成果が出ている【基準＝100%の達成率】
3…おおむね予定した成果が出ている
2…予定した成果があまり出ていない
1…予定した成果が出ていない

		5年度				6年度	担当課
事業項目		事業概要	取組と実績	担当課評価	評価の内容	取組に対する今後の課題	
64	性的マイノリティに関する理解の促進	性的マイノリティに対する偏見や差別の解消等を目指すため、意識啓発を実施します。	多摩地域11市で実施している若年層性的マイノリティ支援事業において、以下の取組を実施した。 ・連携市11市で東京レインボープライドにブース出展し、チラシ・パネル等を作成して事業周知を行ったほか、性的マイノリティに関する意識啓発を行った。 ブース来場者：約1,600人 ・教育啓発事業（研修・授業）の周知を行い、学童クラブ指導員を対象とした研修を1回実施した。 受講者数：80名 ・居場所事業にじーず多摩を各市持ち回りで計12回（うち本市1回）実施した。	3	・東京レインボープライドに出展し、チラシ配布やパネル展示等を通じて、広く来場者に対して意識啓発を行ったため。 ・前年度は本市で実施できなかった教育啓発事業について、学童クラブ指導員を対象として実施することができたため。	11市連携事業及び本市が独自で行う意識啓発の今後の方向性の検討。	令和7年度以降、11市連携事業を現状のまま継続するのが難しくなる（規模縮小・廃止等）可能性があるため、新たな意識啓発の方向性について検討する。

【参考】昨年度回答

		4年度			5年度	
取組と実績		担当課評価	評価の内容	取組に対する今後の課題	計画及び目標	
多摩地域9市で連携し、教員や児童を対象とした性的マイノリティに関する研修を実施した。ただし、本市での実施はできていない。		2	本市では研修の実績がないため。	教育委員会等に対して研修の周知を行う必要がある。	校長会や市内小中学校への訪問を通して周知を行い、研修の実施に繋げる。	

第三者 評価欄(A～E)	判定理由及び改善策等の提言

【第三者評価 基準】

- A…施策は非常に良好に進展している（事業概要・目標・計画以上に施策を実施している）
B…施策は、良好に進展している（事業概要・目標・計画どおり施策を実施している）
C…現状維持（一部事業概要・目標・計画どおり実施していないが、達成に向け努力している）
D…施策がやや後退している（一部事業概要・目標・計画どおり実施していない）
E…後退している（事業概要・目標・計画どおり実施していない）